

救える命を救うために 救急車の適正利用と救急医療電話相談のお知らせ

問い合わせ 消防本部警防課救急係 ☎ 53 - 7223

記事 ID

0053342

救急車は、けがや急病などで緊急に病院へ搬送しなければならない傷病者のためのものです。緊急性がないにもかかわらず要請すると、本当に救急車を必要とする事故が重複して発生した場合、直近の救急車が不在となり到着が遅れることで、救える命が救えなくなる恐れがあります。緊急性がなく自分で病院に行ける場合は、救急車以外の交通機関などを利用してください。

しかし、傷病者の様子や事故の状況などから、急に病院へ連れて行ったほうがよいと思った時は、迷わ

ず119番通報してください。

救急車を呼ぶ？病院へ行く？判断に迷った時、新潟県では大人（おおむね15歳以上の人）を対象とした、救急医療電話相談（#7119）および15歳未満のお子さんの急な病気やけがに関するご相談、小児救急医療電話相談（#8000）を開設しています。

いずれも経験豊富な看護師などが医療機関の受診の必要性や、対処方法などについて助言します。ぜひ、ご利用ください。



救急車を本当に必要とする人のために、
適正な利用について、ご協力をお願いいたします

救急医療電話相談

県内のプッシュ回線・携帯電話からは

7 1 1 9

ダイヤル回線・IP電話・PHSからは 025-284-7119

相談時間

毎日(19時～翌朝8時)

相談内容

発熱、頭痛、腹痛、吐き気など急な病気やけが等に関する相談



小児救急医療電話相談

県内のプッシュ回線・携帯電話からは

8 0 0 0

ダイヤル回線・IP電話・PHSからは 025-288-2525

相談時間

毎日(19時～翌朝8時)

相談内容

お子さんの急な発熱、けが等に関する相談



図書館へ行こう

新着図書情報



◆正欲
(朝井りよこ)



◆半逆光
(谷村志穂)



◆むしろ、考える家事
(山崎ナオコ)



○まってました
(石井聖岳)

- ◆ 白鯨MOBY-DICK (夢枕獯) ゆめまくらぼく
- ◆ MR (久坂部羊) くさかべよう
- ◆ 田舎のポルシェ (篠田節子) しのだせつこ
- ◆ 曲亭の家 (西條奈加) さいじょうな加
- ◆ 誤嚥性肺炎を防ぐ安心ごはん (菊谷武) きくたにたけし
- ◆ 干す (西村豊) にしむらゆたか
- ◆ スポーツ観戦を楽しむ本 (成美堂出版編集部) せいび どうしゅうばんへんしゅうぶ

- 北里柴三郎 (たからしげる) あかのひろふみ
- すっぱいのひみつ (赤野裕文) あかのひろふみ
- 日本庭園を楽しむ絵本 (大野八生) おおのやよい
- つくしちゃんとおねえちゃん (いとうみく)
- でんしゃとしょかん (はせがわかこ) さいとうたかお
- さるじぞう (斎藤隆夫) さいとうたかお
- ヴォドニークの水の館 (降矢なな) ふりや

◆…一般書 ○…児童書

●問い合わせ 中央図書館 ☎53-7511



中央図書館
ホームページ